

備前市 事務事業評価表

事務事業名	会計事務	コード	06-01-17-01
		担当課・係	出納室
		担当者	福壽 克典
事業実施期間	平成17年度～	電話	64-1801
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり	
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営	
	小項目(施策)	その他事務管理(出納)	

事業について	
目的 (何のために)	迅速、合理的な会計事務
対象 (誰・何を対象に)	備前市(団体)
内容	予算執行の適正化を図るための審査、出納、決算を行なう

事業の結果																																		
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)																															
審査枚数	47,743 枚	45,864 枚																																
収納件数	162,446 枚	161,366 枚																																
事業費 (単位:千円)	<table border="1"> <tr> <th>事業費</th> <th>財源</th> <th>事業費</th> <th>財源</th> <th>事業費</th> <th>財源</th> </tr> <tr> <td>直接事業費 2,789</td> <td>国庫補助金等</td> <td>直接事業費 1,095</td> <td>国庫補助金等</td> <td>直接事業費</td> <td>国庫補助金等</td> </tr> <tr> <td>人件費 55,440</td> <td>受益者負担</td> <td>人件費 43,435</td> <td>受益者負担</td> <td>人件費</td> <td>受益者負担</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市債</td> <td></td> <td>市債</td> <td></td> <td>市債</td> </tr> <tr> <td>合計 58,229</td> <td>一般財源等 58,229</td> <td>合計 44,530</td> <td>一般財源等 44,530</td> <td>合計 0</td> <td>一般財源等 0</td> </tr> </table>	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源	直接事業費 2,789	国庫補助金等	直接事業費 1,095	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等	人件費 55,440	受益者負担	人件費 43,435	受益者負担	人件費	受益者負担		市債		市債		市債	合計 58,229	一般財源等 58,229	合計 44,530	一般財源等 44,530	合計 0	一般財源等 0			
事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源																													
直接事業費 2,789	国庫補助金等	直接事業費 1,095	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等																													
人件費 55,440	受益者負担	人件費 43,435	受益者負担	人件費	受益者負担																													
	市債		市債		市債																													
合計 58,229	一般財源等 58,229	合計 44,530	一般財源等 44,530	合計 0	一般財源等 0																													

必要人員	7.25 人	5.70 人	
結果指標	結果指標名	支払書等の審査枚(件)数	支払書等の審査枚(件)数
	結果指標量	47,743	45,864
	単位	枚(件)	枚(件)
	対前年比	-	96.06%
	活動にかかるコスト	29,114,500 円	22,265,000 円
	単位当たりコスト	610 円	485 円
	結果指標名	収納1件あたりコスト	収納1件あたりコスト
	結果指標量	162,446	161,366
	単位	件	件
	対前年比	-	99.34%
	活動にかかるコスト	29,114,500 円	22,265,000 円
	単位当たりコスト	179 円	138 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	処理件数を少なくすることにより、事務の効率化を図る		
成果指標名	収入・支出総件数	式又は説明	1年間の総審査・収納件数
	17年度	18年度	
成果指標量	210,189	207,230	
対前年比	-	98.59%	0.00%
到達目標値	200,000	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等:	妥当性評価<A~E> A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	公費の支出及び収入の業務は、市政を運営していく過程において必要なものであり、目的に対する妥当性は高い。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C	
有効性の評価	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	業務の効率化のため、常に支払書枚数の削減努力をするなど、日常業務執行上削減できるものは創意工夫している。各課予算執行担当者に研修を行い、より正確な会計事務が出来るよう努力する。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
市民参画度	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	会計業務事態は組織的なものである。また、その問題点についても短期的・長期的に方向付けが必要なものがああり、論点を見極めて対応する必要がある。
	市民参画度		

平成19年度状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 45,000	結果指標量 161,000
	成果指標量 206,000	

総合評価	会計事務における総件数という指標を使って事務事業評価を行なった。口座振替推進等で総件数を減らし、効率性を追求する。	評価区分<A~E> B
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	会計事務研修会により会計事務担当者の熟練化を図る	毎年	正確な会計事務